



ひらQ

虎の巻

(上巻)

発行

ひらかたQuizグランプリ実行委員会

はじめに



今年、枚方市は市制施行 70 年を迎えました。「ひらかた Quiz グランプリ」は、枚方のさまざまな魅力をより多くの方に知っていただくとともに、まちへの愛着を抱いていただくために実施する記念事業のひとつです。

「虎の巻」は、クイズに解答いただくための参考書として作成したものです。「上巻」では、場所ごとに、「下巻」ではテーマごとに枚方に関する様々なことをご紹介します。

まちをくわしく知ることは、とても楽しいことです。この「虎の巻」を、家庭や地域、職場や学校でのコミュニケーションのツールとして、ぜひご活用ください。小さなお子さんの場合は、少しむずかしいかもしれませんが、ぜひ大人の方が一緒に読んであげてください。そして、この冊子を通じて「ふるさと 枚方」の新しい発見があれば幸いです。

最後のページに「ひらかた Quiz グランプリ」の開催要項を掲載していますので、ふるってご参加ください。

Contents

P3 枚方の位置・道

- トピックス／現在の道路整備

P4 淀川の地理・歴史 (1)

P5 淀川の地理・歴史 (2)

P6 枚方の鉄道・京阪電車 (1)

P7 枚方の鉄道・京阪電車 (2)

P8 枚方の鉄道・JR 学研都市線

P9 行政区域の移りかわり

P10 枚方市の基本情報

P11～22 市内駅めぐり

- 樟葉駅.....11
- 牧野駅.....12
- 御殿山駅.....13
- 枚方市駅.....14
- 枚方公園駅.....16
- 光善寺駅.....17
- 宮之阪駅.....18
- 星ヶ丘駅／村野駅.....19
- 長尾駅.....20
- 藤阪駅.....21
- 津田駅.....22

P23 Quiz グランプリ開催要項



枚方の位置・道

枚方市は大
阪府・京都府・
奈良県の府県
境、大阪市から
京都市に向って
約20kmの淀
川左岸にある。



東西 12.0km、南北8.7kmの三角
形の形で、面積は 65.12km²。隣接
自治体は、八幡市・京田辺市・生駒
市・島本町・高槻市・交野市・寝屋川市。

京阪電車の枚方市から祇園四条まで
は 28 分。京橋駅までは 14 分。大阪駅
までは 27 分。JR 学研都市線の長尾駅
から京橋駅までは 25 分でできる。

枚方は古くから交通の要衝で、市
内には主に 4 つの古い街道がある。

①磐船街道／枚方から交野を経由して

奈良県に至る(現・国道 168 号)

②東高野街道／京都から高野山への
巡礼街道で、京都から洞ヶ峠を越えて
枚方に入り、枚方台地の中央部を縦断
した後、生駒山地沿いに南下、河内長
野で西高野街道に合流し、高野山に至
る(現・国道 1 号[洞ヶ峠～出屋敷]、大
阪府道枚方交野寝屋川線[出屋敷～茄
子作]、大阪府道枚方富田林泉佐野線
[茄子作～中野])

③山根街道／洞ヶ峠から東高野街道と
分岐し、津田を経由して私部に至る。
茄子作で再び東高野街道に合流

④京街道／豊臣秀吉の命によって文
禄堤上に整備された。江戸時代には東
海道の延長部として京・大坂を結ぶ主
要街道になった(現・大阪府道京都守
口線)



トピックス／現在の道路整備

近年、枚方周辺の主要道路整備
が進んでいる。京滋バイパス(瀬田
東～巨椋)／1988 年開通。京奈道
路(木津～城陽)／2000 年全線開
通。第二京阪道路(京都市伏見区～
大阪府門真市)／2010 年全線開通。
新名神高速道路(城陽～八幡京田
辺)／2017 年)。八幡京田辺～高槻
第一間の開通予定は 2024 年。



出典: NEXCO 西日本 HP



淀川の地理・歴史（1）

【概要】

淀川は、琵琶湖から流れ出、滋賀県・京都府・大阪府を流れる一級河川。瀬田川、宇治川と名前を変え、桂川や木津川と合流して淀川となり、大阪湾に注いでいる。幹線流路延長は琵琶湖南端から 75km。8,240km² の流域面積は日本で 7 位。河口から最も遠い地点は滋賀県・

福井県の分水嶺で、琵琶湖に流入する高時川

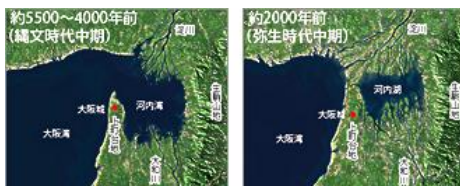


の水源地の柘ノ木峠（長浜市余呉町）。ここには「淀川の源」の石碑が設置されており、河口までの流路延長は約 170km。ちなみに枚方大橋から大阪湾までの距離は 25.7km。また、琵琶湖に流入する淀川水系全体の支流数は 965 本で日本一多い（第 2 位は信濃川）。江戸時代までは大和川も淀川に合流していたが、付け替えによって本流が分離され、現在では独立した水系として扱われている。

【成り立ち】

約 7 千～6 千年前の縄文時代前期の大阪平野は海水面の上昇（縄文海進）により河内湾と呼ばれた海の底にあった。その後、河内湾は大阪湾と切り離されて河内潟となった。約 2 千年前以降の弥生時代中期には淡水化し河内

湖となった。



（松田明一郎氏原図）

淀川は平安時には瀬戸内海や西国と京の都を結ぶ大動脈としての役割を担っていたが、枚方と大阪湾との距離、水量・川幅は、各時代において、現在とは随分と異なっている。

【河川公園】

枚方地区の「淀川河川公園」は、「水・文化・緑・地域」の 4 つをテーマにした水辺公園。公園内には屋外円形劇場アクアシアター、水のプロムナード、人工芝野球場、水位観測所等がある。

【橋】

淀川にかかる橋のうち大阪府内で一番上流にある橋が枚方大橋。長さ 689m。国道 170 号・大阪府道 6 号枚方亀岡線・大阪府道 139 号枚方茨木線の道路橋。南詰では大阪府道 13 号京都守口線（旧国道 1 号）と接続。昭和 5 年（1930 年）に初代が完成。現在 2 代目で昭和 42 年（1967 年）に上流側 2 車線分が竣工。昭和 46 年（1971 年）に下流側へ拡張し両側 4 車線となった。枚方大橋の上流側に架かる次の橋は約 12km 先の八幡市・御幸橋（ごこうばし）。



淀川の地理・歴史 (2)

【治水】

淀川の治水の歴史は、約 1,600 年前、仁徳天皇によって淀川と古川の間土地(旧茨田郡)を度重なる水害から守るために築造された茨田堤(まんだのつつみ)に始まるとされる。近世になって天下を統一した豊臣秀吉は、連続した堤防がなかった淀川左岸に文祿堤を築いた。堤の上は京街道(東海道)として利用され、枚方宿(ひらかたしゆく)の町並も堤防上に形成された。

明治 8 年
(1875 年)、ヨハネス・デ・レーケらオランダ人技術者の設計により砂防工事を始めとする淀川修



ヨハネス・デ・レーケ

築工事が開始された。しかし、明治 18 年(1885 年)6 月、三矢村・伊加賀村の淀川堤防が決壊し、北河内・中河内一帯が水没。水害は大阪市内に及んだ。そこで、南郷洗堰の建設による琵琶湖の水位調節、宇治川・桂川・木津川の合流地点の移設、川幅が広く直線的な放水路としての新淀川(守口～大阪湾約 16km)の開削など本格的な淀川改良工事が行われた。

【舟運】

淀川は、奈良・平安時代には東アジア各地へとつながる交通路として国や

地域間の物流や交流を支えてきた。

紀貫之(きのつらゆき)は「土佐日記」において、土佐国(高知県)から京都に帰るために淀川を船でさかのぼった際、渚院(なぎさのいん)を遠くから眺め、昔をしのんでいる。

江戸時代には、京都伏見と大坂八軒



家を結ぶ「三十石船(さんじゅうこくぶね)」が登場。米を三十石積めることから名づけられた旅客専用のこの船は、全長約 17m、乗客定員約 28 人。曳き船が必要な上りは約 12 時間、川の流りに乗れる下りは約 6 時間で京都・大坂を結んだ。三十船の旅客に荒っぽい河内弁で「飯くらわんか、酒くらわんか」などと叫びながら小舟で近づき、酒や食べ物を売っていたのが「くらわんか舟」である。

【関所】

中世では、上下する舟の数が多い淀川筋に、朝廷が社寺への寄進を行うため、関料(通行料)を徴収する関所が置かれた。楠葉関は、鎌倉時代以来、春日社・興福寺が支配しており、興福寺の修理費用を徴収する禁野関とともに、南北朝内乱期のさなかにおいても、北朝・幕府に保護されていた。



枚方の鉄道・京阪電車（1）

【歴史】

大阪・京都間には、明治 9 年(1876 年)、淀川右岸に官営鉄道(現 JR 京都線)が敷かれたが運賃が高く、民間所有の蒸気船(「川蒸気」とも呼ばれた)が貨客運送の主力だった。しかし、淀川左岸の京街道沿いに大阪と京都を結ぶ交通機関整備の必要性が高まり、明治 43 年(1910 年)4 月 15 日、天満橋一五条間に京阪電鉄の最初の路線が開通した。



開業当時の京阪電車

開通当時、本市周辺には香里・枚方(現枚方公園駅)・枚方東口(現枚方市駅)・牧野・樟葉の各駅が設けられ、同年 12 月に光善寺駅が設置された。また、御殿山駅は昭和 4 年(1929 年)5 月、大阪美術学校の移転に伴って開設された。一方、昭和 4 年(1929 年)7 月、信貴生駒電鉄が枚方東口駅—私市駅間を開業した。設置駅は、村野・郡津・交野であった。星ヶ丘駅は昭和 13 年(1938 年)、中宮駅(現宮之阪駅)は昭和 15 年(1940 年)に設置された。なお、この路線は昭和 14 年(1939 年)5 月に

交野電気鉄道に譲渡された。昭和 18 年(1943 年)、京阪電鉄は戦時統合政策により阪神急行電鉄(阪急)と合併し、京阪神急行電鉄となったが、終戦直前の昭和 20 年(1945 年)5 月、交野電気鉄道の事業を譲り受け、交野線とした。戦後、1949 年(昭和 24 年)12 月、京阪神急行電鉄から、京阪本線・交野線・宇治線・京津線・石山坂本線の各路線が分離譲渡され、新たな京阪電気鉄道株式会社が発足した。

【市内各駅】 (駅間距離は営業キロ)

[京阪本線] <>は他域域に位置する駅
樟葉-(2.2km)-牧野-(2km)-御殿山-(1.7km)-枚方市-(1km)-枚方公園-(1.7km)-光善寺-(1.5km)-<香里園>

[交野線] <>は他域域に位置する駅
枚方市-(1km)-宮之阪-(0.7km)-星ヶ丘-(0.8km)-村野-(0.9km)-<郡津>

【列車種別と停車駅】 (2017.2.25 現在)

	快速 特急	特急	快速 急行 ・通勤 快速	急行 ・深夜 急行	準急 ・区間 急行 ・普通
樟葉	×	○	○	○	○
牧野	×	×	×	×	○
御殿山	×	×	×	×	○
枚方市	×	○	○	○	○
枚方公園	×	×	×	△ ×	○
光善寺	×	×	×	×	○

※快速特急「洛楽」の全日運転は 2017 年 2 月～



枚方の鉄道・京阪電車（2）

【運賃】 (2017.5.31 現在/円)

[京都方面]

	出町柳	三条	祇園四条
樟葉	410	330	330
牧野	410	350	350
御殿山	410	350	350
枚方市	430	350	350
枚方公園	430	370	350
光善寺	430	370	370

[大阪方面]

	京橋	北浜 天満橋	淀屋橋	中之島
樟葉	350	350	350	430
牧野	350	350	350	410
御殿山	330	350	350	410
枚方市	330	330	330	410
枚方公園	330	330	330	410
光善寺	310	330	330	390

【特色】

京阪電鉄は、当時の私設鉄道法ではなく軌道条例(後の軌道法)に基づく特許で開業したため、軌道の3分の1が旧京街道の路面を利用する併用軌道となり、カーブが多くなった。しかし、大正末期から昭和初期にかけて軌道の直線化、高架複々線化工事に着手し、2両連結車を運行するなど輸送力を増強し、スピードアップを図った。大正4年(1915年)には、日本で最初の自動

信号機を設置している。昭和2年には全鋼製の「ロマンスカー」を、昭和9年(1934年)には、連接車体(※2個の車体の一端を連結器ではなく、1個の台車で支持し連結している車両のこと)の60型電車による急行「びわこ号」が天満橋～浜大津間の直通営業運転を開始し、高い人気を集めた。



昭和29年(1954年)には京阪本線の特急で白黒テレビを設置した「テレビカー」の運行を開始。平成25年(2013年)に役割を終えて運行を終了するまで、約60年にわたり京阪特急の代名詞的存在となった。平成18年(2006年)からはラッピング電車「きかんしゃトーマス号」の運行、CMでは平成12年(2000年)から「おけいはん」シリーズ(イメージキャラクター/淀屋けい子・京橋けい子・森小路けい子・楠葉けい子[日向千歩さん]・中之島けい子・出町柳けい子)を開始するなどユニークな取り組みも多い。平成9年(1997年)には朝ラッシュ時の下り特急が、平成15年(2003年)にはすべての特急列車(当時)が枚方市駅・樟葉駅に停車することになった。



枚方の鉄道・JR 学研都市線

【歴史】

明治28年(1895年)8月、片町駅～四条畷駅間に浪速鉄道が開通した。

その後、当時、名古屋・伊賀上野間を営業していた関西鉄道が、木津を経て大阪-名古屋を直結する計画を立て、明治30年(1897年)、浪速鉄道とともに四条畷-木津間の鉄道敷設を準備していた城河鉄道を吸収合併し、路線工事に着手した。明治31年(1898年)4月、四条畷駅-長尾駅間が開通。同年6月には、長尾駅-新木津駅間が開通した。当初、この区間は、東高野街道沿いに北上して八幡から木津に至る計画になっていたが、津田村・菅原村では地元の発展のために駅用地を寄付するなどして山手寄りに線路をつけるように熱心に運動。その結果、津田・菅原(現長尾)駅が設置された。

明治40年(1907年)10月、同鉄道は国有化され、明治42年(1909年)から片町駅-木津駅間は片町線と呼ばれることになった。

昭和62年(1987年)、国鉄が民営化されて西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)が発足。翌年から「学研都市線」の愛称名が使用されている。



片町駅-四条畷駅間の電化は昭和7年(1932年)。四条畷駅-長尾駅間の電化は昭和25年(1950年)で、長尾駅-片町駅間の直通運転が開始された。

【戦前の特徴】

戦前、この路線は、陸軍大阪砲兵工廠(森之宮一带)と沿線に位置する香里製造所(星田駅から引込線[現市道])、禁野火薬庫・枚方製造所(津田駅から引込線



[現国道307号]、祝園弾薬庫(下狛駅から引込線[川西側線])を結び、軍需輸送を担っていた。平成3年(1991年)、枚方製造所への引込線跡の一部が中宮平和ロードとして整備された。

【市内各駅】 (駅間距離は営業キロ)

長尾-(1.6km)-藤阪-(1.6km)-津田

【列車種別と停車駅】 (2017.5.31 現在)

	快速	区間快速	普通
長尾	○	○	○
藤阪	×	○	○
津田	×	○	○

【運賃】 (2017.5.31 現在/円)

	木津	松井山手	京橋
長尾	320	140	460
藤阪	410	190	390
津田	410	190	390



行政区域の移りかわり

【明治 22 年／町村制】

明治維新による廃藩置県後、新たな地方制度が安定するまでには、様々な試みがなされた。明治 22 年(1889 年) 4 月、町村制の施行により、新町村が誕生し、幕末に本市域にあった 37 か村は、次の 10 か町村となり、旧村は大字(おおあざ／町や村の中の一區画)となった。なお、この時の人口総数は 20,648 人。

■茨田郡(まったぐん)

[枚方町] 三矢・岡・岡新町・枚方・泥町・伊加賀

[蹉陀村] 出口・走谷・中振

■交野郡

[川越村] 田宮・山之上・茄子作・村野

[津田村] 春日・津田・野

[氷室村] 杉・尊延寺・穂谷

[菅原村] 長尾・藤阪

[山田村] 甲斐田・片鉾・田口・中宮

[牧野村] 禁野・磯島(※明治 7 年まで摂津国島上郡)・小倉・渚・阪・宇山・養父・上島・下島

[招提村] 招提

[樟葉村] 船橋・楠葉

【昭和 10 年／殿山町誕生】

[殿山町] 牧野村・招提村

【昭和 13 年／枚方町誕生】

[枚方町] 枚方町・蹉陀村・川越村・山田村・殿山町・樟葉村

【昭和 15 年／津田町誕生】

[津田町] 津田村・氷室村・菅原村

【昭和 22 年／市制施行】

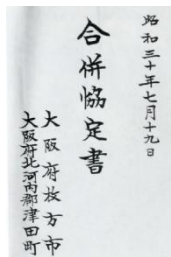
昭和 22 年(1947 年)4 月、地方自治法が公布され、新制度による町村長選挙が全国一斉に行われた。枚方町長には寺嶋宗一郎が当選。選挙に先立つ 1 月の町民大会の要望を受け、6 月に市制施行上申書を内務大臣に提出。8 月 1 日、大阪府内で 12 番目の市として「枚方市」が誕生した。守口市に次いで、戦後 2 番目の市制施行で、人口は 41,041 人であった。



枚方町役場

【昭和 30 年／津田町合併】

昭和 28 年(1953 年)10 月、町村合併促進法が施行されると、翌年 4 月、枚方市は津田町・交野町・星田村に合併を申し入れた。しかし、交野町・星田村の合意が得られなかったため、昭和 30 年(1955 年)10 月 15 日、一部の反対意見もあったが、津田町だけを編入合併した。その結果、59,327 人の新しい枚方市が誕生した。





枚方市の基本情報

■人口総数 (H29.1.1 現在)

[総数] 404,963 人

(男)195,020 人 (女)209,943 人

[比較] (H28.1.1 現在)

*大阪府内 4 位(大阪市・堺市・東大阪市)

*全国の市(791 市/H28.10.10 現在)の
中で 46 位

*中核市(48 市)の中で 21 位

※中核市は平成 6 年(1994 年)に創設
された制度。中核市では保健所の
事務等も行う。枚方市は平成 26 年
(2014 年)4 月 1 日に指定された。

■世帯数 (H29.1.1 現在)

177,735 世帯(2.28 人/世帯)

■人口密度 (H29.1.1 現在)

6,219 人/km²

■平均年齢・高齢化率

45.31 歳(推定)(H29.1.1 現在)

26.6%(H29.1.1 現在)

■市民生活データ(平成 28 年度版市統計書)

☆出生・死亡/1 日に 8.0 人・9.5 人

☆転入・転出/1 日に 35.7 人・37.7 人

☆婚姻・離婚/1 日に 6.8 件・1.8 件

☆水道(配水量)/1 日に 12.6 万 m³

☆救急出動/1 日に 53.9 件

☆火災/1 日に 0.3 件

☆ごみ収集量/1 日に 299.4 t

■市税徴収状況(平成 27 年度決算)

総額/558 億 8,449 万円

■一般会計当初予算額(平成 29 年度予算)

歳入・歳出総額/1,336 億円

■市章・市旗

昭和 22 年(1947 年)制定(市章)

昭和 42 年(1967 年)制定(市旗)



■市の花・市の木・市の鳥

市の花/菊



市の花/桜



市の木/柳



市の鳥/カワセミ



■歴代市長

寺嶋宗一郎(初~2 代)、畠山晴文(3 代)、
寺嶋宗一郎(4~5 代)、山村富造(6~8
代)、北牧一雄(9~12 代)、大塩和男(13
代)、中司宏(14~17 代)、竹内脩(18~
19 代)、伏見隆(20 代・現職)

■議会

☆議員定数(※選挙実施年時点)

32 人(2015 年~現在)

※経過/34 人(2007 年~)←36 人
(1959 年~)←30 人(1955 年 11 月
~)←25 人(1955 年 4 月~)←30
人(1947 年~)

☆議長(※議員の互選による)

現議長/66 代、議長経験議員/57 人



市内駅めぐり・樟葉駅

【地名】

地名の由来は、古事記によると、淀川に追い詰められた兵士が恐怖のあまり漏らして袴(はかま)を汚したことから、その場所が「クソバカマ」と呼ばれ、後に「クズハ」になったとある。

【くずはローズタウンの建設】

京阪電鉄は昭和35年(1960年)、沿線開発と旅客誘致の一環として住宅開発(くずはローズタウン)を計画。その後、隣接する八幡町に公団住宅の建設(男山団地)が決定したため、当初50万㎡の開発面積を136万㎡に変更。丘陵部を削った土で盛土を行う造成工事が昭和42年(1967年)から6地区に分けて着工された。昭和46年(1971年)、京阪で初めて自動改札機を備えた樟葉駅が完成、急行停車駅になった。

リニューアル前のくずはモール



昭和47年(1972年)4月、くずはモール街が開店。スーパー2店を中心に、専門店62店を数える新しい複合型ショッピングモールとして注目された。昭和49年(1974年)10月には松坂屋くずは店も開店。モール内にはSLのD51を設置・保存(※閉鎖後、トロッコ嵯峨駅前の

19世紀ホールに移設)するなどの特色があり、オープニングイベントには松田優作が出席していた。くずはモールは、平成17年(2005年)4月、「KUZUHA MALL」として全面リニューアル(1期)。本館・西館・KIDS館からなる売り場面積は約5万㎡になった。第2期リニューアルは西館・KIDS館の建て替えて、平成26年(2014年)3月にオープン。売り場面積は改装前の約1.4倍、店舗数が61店舗多い236店舗となった。

【周辺の歴史資源】

★交野天神社(かたのあまつかみのやしろ)

交野天神社本殿と末社八幡神社本殿は一間社流造(いっけんしゃながれづくり)で、檜皮葺の室町時代の建築物(重要文化財)。拝殿右側の社の奥の貴船神社がある小丘周辺は継体天皇が即位した樟葉宮跡の伝承地(大阪府史跡)。「日本書紀」によると、越前(福井県)から迎えられた男大迹王(おおどのおおきみ)は、継体天皇として507年に樟葉で即位。5年にわたり宮を営んだとされる。

★楠葉台場跡(国史跡/平成23年2月指定)

京都防衛のために幕府が築造。設計の総責任者は勝海舟で、稜堡式(りょうほしき)という西洋式の築城技術を採用し、1865年に完成した。3箇所の砲座や番所・火薬庫を備える大規模な施設で、京街道を引き込んで関門としての機能を併せ持つ珍しい特徴を持つ。



市内駅めぐり・牧野駅

【地名】

明治の町村制で誕生した「牧野村」の地名は、中世に「牧郷」「牧野郷」と呼ばれていたことに由来。「牧」とは馬の飼育やまぐさ（※飼料とする草）の確保を行う所のことで、「牧野」の地名は、平安時代、藤原摂関家が支配した「楠葉牧」の名残りだと思われる。

【駅前広場】

牧野駅東地区において、バスターミナルや歩道を整備する牧野駅前広場整備事業と、賑わいのある魅力的な駅前空間を形成するため牧野駅東地区第一



牧野駅前広場

種市街地再開発事業という2つの事業が進められ、平成24年(2012年)2月に再開発ビルが完成、3月に駅前広場がオープンした。駅前広場は穂谷川の上に架けられた橋梁(単純鋼床版箱桁橋形式)の上に整備されている。

【駅周辺の歴史資源】

★片埜神社(かたのじんじや)

「延喜式」(※平安時代中期に編纂された律令の施行細則) 神名帳に記載されている神社を式内社といい、枚方市内では意賀美(おかみ)神社・久須々美神社・片野(※明治時代に片埜に改めた)神社の三社がある。かつては広大な社地を有し、桜の名所であった。豊臣秀吉の跡を継い

だ秀頼は、畿内諸国の社寺を造営・修復させたが、坂村の片埜神社と船橋村の二ノ宮神社は、大坂城の鬼門よけの



片埜神社本殿

神社として再建された(1602・1603年)。片埜神社の本殿は桃山時代の建築様式をよく伝えている(※重要文化財)。

片埜神社の隣の公園に、『伝阿弭流為 母禮之塚』と記されている石碑がある。阿弭流為(アテルイ)は8世紀の終わりごろの蝦夷(※現在の岩手県奥州市地域が本拠地)の領袖。征夷大將軍となった坂上田村麻呂が率いた蝦夷への数万の侵攻軍を撃退した英雄で、802年に降伏した際、二人は京に連行され、河内国で処刑されたとされる。この二人を追悼するため、平成19年(2007年)3月、地元民間団体によって建立された。

【映画のロケ】

映画「オカンの嫁入り」は、呉美保(オミホ)監督作品。角川映画。原作は咲乃月音「さくら色 オカンの嫁入り」。出演:大竹しのぶ・宮崎あおい・桐谷健太。2010年9月公開。京阪電車の緑の感じ・車内の雰囲気・車内から見た風景などが監督のイメージにあったことから牧野駅がロケ地に選ばれた。



市内駅めぐり・御殿山駅

【地名】

「御殿山」という地名は、いつからそう呼ばれるようになったのか不明だが、江戸時代初め、渚村を治めていた永井尚庸(ながいなおつね)の陣屋があったことからと言われている。

【駅】

御殿山駅は昭和4年(1929年)に新設開業した駅。当時、この駅周辺の線路は京阪国道(現・大阪府道京都守口線)を走る併用軌道だった。2年後に専用軌道化されたが、昭和44年(1969年)に構内地下通路が完成するまで、駅構内に踏切があった。

【歴史】

★大阪美術学校

南画家の矢野橋村(やのきょうそん)は、大正13年(1924年)、大阪市・天王寺に大阪美術学校を設立したが、入学者が増加して手狭になったため、昭和4年(1929年)5月、通学の便を考慮して御殿山駅を新設するなどの京阪電鉄の誘致に応じて御殿山に学校を新築移転した。しかし、昭和14年(1939年)3月、禁野火薬庫の爆発で、校舎の屋根が吹き飛ぶなどの被害を受けた。同年



大阪美術学校

9月には復旧したが、戦争の激化とともに学生が減少し、昭和19年(1944年)には陸軍が接收して陸軍病院に改造。学校は事実上閉鎖された。こうした歴史を踏まえ、昭和62年(1987年)、学校跡地に枚方市立御殿山美術センター・御殿山図書館が建設された。

★御殿山テレビジョン住宅

昭和31年(1956年)3月、京阪電鉄が松下電器産業と共同して、当時高嶺の花だったテレビ付の分譲住宅44戸を御殿山で建設し、販売を開始した。

【周辺の歴史資源】

★渚院跡(なぎさのいんあと)

平安時代、文徳(もんたく)天皇の第一皇子で、天皇の後継者争いに敗れた惟喬親王(これたかしんのう)の別荘「渚院」があった。「伊勢物語」には、親王と歌人の在原業平(ありわらのなりひら)たちが渚院で花見を楽しむ場面がある。渚院のあとには観音寺が建っていた



観音寺跡の鐘楼・梵鐘

が、明治初年に廃寺となった。渚院跡には、廃渚院観音寺鐘楼・梵鐘のほか、渚院の碑や歌碑などがある。観音寺本尊の十一面観音像は渚院跡近くの河内西国三十三ヶ所観世音めぐり第十九番札所の西雲寺に安置されている。



市内駅めぐり・枚方市駅

【地名】

なぜ枚方(ひらかた)と呼ばれるようになったのかは諸説あり不明だが、文献での地名(※原文では「比羅智駄」)の初出は奈良時代に書かれた「日本書紀」。近江の武将「毛野(けの)」の妻が遺骸となった夫を乗せて淀川を上ってきた船に枚方で出会い、詠んだ悲しみの歌である。

「ひらかたゆ 笛吹き上る近江のや
毛野の稚児(わくご)い 笛吹き上る」

【東口・西口】

京阪電鉄開業当時、当時の枚方町の中心だった枚方駅は現枚方公園駅で枚方西口と呼ばれ、現枚方市駅は枚方東口駅であった。東口公設市場(※昭和52年廃止・現野村證券枚方支店付近にあった)、西口公設市場(※現枚方市公設市場サンパーク[枚方公園青少年センターとの合築])、西口商店街などにこの名が使われていた。

【枚方市駅の高架化】

かつて枚方市駅のプラットホームは狭く、乗降客があふれて危険で、駅の南北は分断され、「開かずの踏み切り」が交通渋滞を引き起こしていた。そこで昭和53年(1978年)12月、京阪本線・交野線(枚方市)連続立体交差事業が着工され、上り線・下り線・交野線の高架化切替え、駅の内外装工事等を経て、平成5年(1993年)3月に完成した。

【庁舎の位置】

[町役場] 三矢(現三矢公園/昭和12年～)、岡(現サンプラザ1号館付近/昭和17年～)

[市役所] 現在地(庁舎本館・昭和35年～、庁舎別館・昭和44年～)

【官公庁団地】

昭和43年(1968年)、市は市内に分散している官公庁を1か所に集めて官公庁団地を建設する構想を発表。大垣内2丁目に用地を確保し、協力を要請。昭和44年(1969年)2月の枚方税務署を皮切りに、北大阪商工会議所・枚方郵便局・枚方寝屋川消防署(※消防組合本部庁舎は平成28年2月、新町1丁目に移転)・枚方職業安定所(※平成25年10月、ピオルネ6Fに移転。現在、市庁舎第2分館)、納税協会、枚方市農協会館(※現在、JA北河内本店)、枚方簡易裁判所、枚方区検察庁(※平成27年機能移転。平成29年4月、跡地に市立おおがいと小規模保育施設が開園)、枚方医師会館、北河内府民センターが次々に移転した。昭和55年(1980年)2月、桜町にあった枚方警察署も官公庁団地に隣接した禁野橋南詰に移転した。

【市街地再開発(枚方市駅周辺)】

枚方市駅の南地域は駅前の広場や道路も狭く、木造住宅が密集する市街地だった。昭和47年(1972年)11月、事務所や商店などの建物を撤去した跡地に駅前ビル3棟と連絡陸橋、駅前広

場を整備する再開発事業を着工。昭和50年(1975年)3月、約113億円の事業費をかけて完成した。3棟のビルは「ひらかたサンブラザ」と名づけられ、2号棟にはひらかた丸物(昭和52年に枚方近鉄百貨店となる)が開店した。

現在、2号棟は建て替えられ、枚方蔦屋(つたや)書店(創業は枚方市。創業者は増田宗昭氏)を中核店舗とする複合商業施設・枚方 T-SITE(カルチャー・コンビニエンス・クラブ/CCCの運営。代官山[東京都渋谷区]、湘南[藤沢市]に続く3店目)が平成28年5月に開業した。

枚方 T-SITE



【市街地再開発(岡本町)】

枚方市駅の北西部の岡本町地区は旧京街道に沿って古くから商店街として栄えてきたが、古い町並みは道路も狭く、防災上の問題もあったため再開発事業が行われた。店舗・事業所・住宅・駐車場等を併せ持った多機能型ビルの建設を中心に周辺道路や公園などの公共施設が整備され、平成2年(1990年)に竣工。再開発ビルは「ビオルネ(生活を飾るという意味のフランス語の造語)」と命名され、ショッピングセンター部分はキーテナントがサティ(※当初。現在はイオン)で、地元権利者等で構成する専門店街と複合化されている。

【クラブウ枚方工場跡地】

大正9年(1920年)、岡(現新町2丁目)で日本メリヤス枚方工場が操業を開始。大正13年(1924年)には倉敷紡績に売却された。戦時中は陸軍の枚方製造所に貸与されていたが、昭和24年(1949年)に操業を再開。平成8年(1996年)、クラブウ枚方工場が閉鎖されたのをうけ、市では総合文化会館と総合福祉会館を建設する計画を決定。東側の用地を買収して、平成10年(1998年)10月、総合福祉会館(ラポールひらかた/ラポールは信頼関係を意味するフランス語)を開館した。なお、文化施設については計画内容を見直し、現在、設計作業中である。西側の跡地には、関西医科大学附属枚方病院が平成18年(2006年)1月に開院。平成25年(2013年)4月には、病院に隣接して関西医科大学枚方学舎が開設された。

【市駅周辺の商業施設】

枚方市駅周辺の商業施設は人口増加とともに拡大してきた。前出以外の主な商業施設では、駅北口前に駅前デパートが昭和40年(1965年)に開店。なお同店には、昭和57年(1982年)、TSUTAYAの前身となる喫茶店兼レンタルレコード店「LOFT」が5階に開店している。昭和43年(1968年)に駅南口に三越百貨店、昭和44年(1969年)に駅北口に長崎屋、昭和45年(1970年)に宮之阪にイズミヤが開店。平成6年(1994年)に、市駅高架化に伴って駅構内で京阪百貨店・京阪ザ・ストアが開店した。



市内駅めぐり・枚方公園駅

【菊人形】

京阪電鉄は、明治 43 年(1910 年)、香里遊園地(友呂岐村)で菊人形を開催したが、住宅地開発のため翌年で中止。大正元年(1912 年)、枚方駅(現枚方公園駅)に移転開催し、大正 12 年(1923 年)から定着した。(※下巻に続編)

【ひらかた温泉】

昭和の初め頃から平成 3 年(1991 年)まで、枚方公園駅東側の丘の上には、最盛時、旅館や浴場・料亭・カフェ・遊技場・芝居小屋まで備えた「ひらかた温泉」があり、多くの観光客でにぎわった。昭和 27 年(1952 年)には枚方パークで溝口健二監督の映画「西鶴一代女」の撮影が行われ、映画俳優の田中絹代と三船敏郎がひらかた温泉を訪れた。



ひらかた温泉全景絵(昭和 10~20 年代)

【枚方映劇】

枚方公園駅東側駅前には「枚方映劇」という映画館があった。所有者の孫がアニメ映画監督の片渕須直氏。1960 年枚方市生まれで、枚方小学校入学後、1 年生の途中で寝屋川市に転居。最新作の「この世界の片隅に」は、第 40 回日本アカデミー賞最優秀アニメーション

賞などの映画賞を総なめにした。

【周辺の歴史資源】(※枚方宿は下巻に)

★意賀美(おかみ)神社

創建・沿革は不明だが、付近の人々や淀川を上下する船人らが通航の安全・水害の排除祈願のため、伊加賀に創建したと伝えられる。境内地の万年寺山古墳からは 6 面の三角縁神獸鏡を含む計 8 面の青銅鏡が出土した。境内の梅林には約 110 本の白梅・紅梅が植えられ、梅林の隣には御茶屋御殿(※豊臣秀吉が建てたと言われる)跡展望広場がある。

★願生坊(がんしょうぼう)

1496 年、本願寺 8 世蓮如(れんにょ)が大坂に石山本願寺を建立したが、同寺と舟で直結している枚方は、早くから有力な拠点の一つであった。蓮如の子 9 世実如(じつじょ)が 1514 年に建立した枚方御坊を実従(じつじゅう/日記「私心記」を残した)が順興寺と改め、同寺を中心とした寺内町(じないまち)が成立した。しかし、織田信長と本願寺が対立する中で寺内町も衰亡。江戸時代になって本願寺大谷派が蓮如ゆかりの場所として願生坊(がんしょうぼう)を建立。同寺は蔵の谷にあることから谷御坊と呼ばれ、本堂の東角にある半鐘は枚方上之町にあった鑄物師(いもじ)田中家の製品。明治 6 年(1873 年)には、同寺を使用して枚方小学校が創立された。



市内駅めぐり・光善寺駅

【光善寺駅】

明治 43 年(1910 年)4 月、京阪電鉄が開通し、秋の彼岸に光善寺に参詣する人々のため中振に臨時停車していたが、それを常設化するため 12 月に光善寺駅が開設された。半径約 500m のカーブ上に駅が造られているため、停車列車が大きく傾く。平成 10 年に橋上駅舎化。現在、枚方元町～南中振 1 丁目間約 3.4km で連続立体交差事業が進められており、事業完成により枚方公園駅・光善寺駅は高架化される。

【周辺の歴史資源】

★光善寺(こうぜんじ)

1475 年、浄土真宗中興の祖となった蓮如が、越前国吉崎から摂津富田を経て出口に移住した。当時、出口は淀川沿いの低湿地であったが、近在の御厨石見入道光善(※名前が寺名の起源となった)

という有力門徒が坊舎の建立にあたり、蓮如は約 3 年



光善寺

間滞在した。光善寺は広大な寺域と御堂・山門・太鼓楼・書院・庭園等の江戸時代の伽藍配置を残し、出口寺内町の核としての風格を今に伝えている(※市指定文化財・史跡)。境内にあるさいかちの木(樹齢 200～250 年)は大坂府の

天然記念物。池に住む大蛇が蓮如上人の説法を聴き功德を得たので池を献上し、近くのさいかちの木から昇天したと伝えられている。また、蓮如上人が村人に製法を教えたとされるのが「出口団子」(※遠州屋[北中振 3 丁目]で製造販売)。説法をする時に腰掛けていた石に似ていることから、「石もち」とも呼ばれていたという。もち米でなく米粉でついた餅でこし餡を包んだ艶のある美しい団子で、枚方音頭 14 番に「出口団子は一目で惚れる なんとやわ肌 白い肌」と歌われている。

★蹠跢神社(さだじんじや)

901 年、大宰府へ左遷される菅原道真を娘の苺屋姫(かりやひめ)が追いかけたが間に合わず、悔しさのあまり地面をたたきつけるように何回も踏みつけ、泣き叫んだ。この地団太を踏む様子を「蹠跢する」といい、その山を「蹠跢山」と呼ぶようになった。大宰府でその話を聞いた道真は、自身の木像を作って娘に送ったという。その後、蹠跢山に社殿を造営して木像を祀り、近隣 25 箇村の産土神(うぶすながみ/その人が生まれた土地を守る神)としたのがはじまりと社伝にある。なお、現在の本殿は明治 21 年(1888 年)に再建されたものである。





市内駅めぐり・宮之阪駅

【駅名】

信貴生駒電鉄から譲渡された交野電気鉄道が陸軍の火薬庫や製造所で働く人の最寄駅として昭和15年(1940年)に設置した。当時の駅名は中宮駅。宮之阪は元々禁野村に含まれており、明治42年(1909年)に発生した禁野火薬庫の最初の爆発により、村の中心から農家が移り住んだことが集落の起源と言われている。昭和45年(1970年)、イズミヤの開店を契機に小売店が集積。多くの買物客で活性化したが、駅周辺を中宮と勘違いするケースが頻発。地元住民らの要望を受け、昭和46年(1971年)に駅名が改称された。

【周辺の歴史資源】

★禁野車塚古墳

天野川右岸の低位段丘に築かれた前方後円墳。全長120m・後円部径63m・前方部幅55m。近年の測量調査の結果、墳形の特徴が奈良県の箸墓古墳に類似し、築造時期は4世紀前半(古墳時代前期前半)と考えられている。昭和47年(1972年)、国史跡に指定。平成19年(2007年)、後円部南東部分が追加指定された。

★百済寺跡

国の特別史跡百済寺跡は、東大寺大仏造立に際し、749年百済王敬福が

陸奥国産出の金を献上した功により、翌年宮内卿兼河内守に任じられ、以後一族が中宮に移住した際に建立した氏寺の跡。当時の最新技術を駆使して造営され、堂塔のほかにも築地塀(ついじべい)で区画された寺院の経営に関わる施設が整然と配置され、中央の官寺と比較しても遜色のない寺院であったことが発掘調査で判明。百済寺跡の西隣で出土し、平成18年(2006年)、大阪府有形文化財に指定された「せん仏(※仏の姿をかたどった土製のタイル状のもの)」は、図様から奈良時代のもと考えられ、当時の百済寺における信仰のあり方をうかがわせる貴重な資料である。1つの遺跡から60点を超える多量のせん仏が出土した例は全国でも珍しい。(※下巻に続編)

【七夕】

古今和歌集には、在原業平が惟喬親王(※共に13頁参照)らと天野川のほとりで酒宴を開いた時、親王の求めに応じて歌を詠んだと記されている。

「狩り暮らし 七夕つ女に 宿からむ
天の河原に 我は来にけり」

天野川を夜空の天の川に見立てた歌で、この他にも多くの宮廷人がこの地を訪れ、四季折々の歌や七夕歌を残している。近年では、毎年7月、宮之阪商店街や天津橋周辺の河川敷で七夕にちなむイベントが行われている。



市内駅めぐり・星ヶ丘駅／村野駅

■星ヶ丘駅

昭和 13 年(1938 年)に枚方東口駅—村野駅間に新設開業された。

【駅周辺の地域資源】

★天野川

平成 28 年(2016 年)、本市は交野市とともに中小企業地域資源活用促進法に基づき「七夕伝説と天の川ツーリズム」を地域資源として登録するとともに「ふるさと名物応援宣言」を行った。交野市には降星伝説も多く、両市の観光スポットを活用した周遊ルートの設定や商品開発支援などが進められている。天野川に架けられた橋には、七夕ゆかりの名を持つものも多い。主な橋名は下流から順に、鶺鴒(かささぎ)橋・天津(あまつ／天の港の意)橋・禁野橋・天野川新橋・浜橋・新天野川橋(※市境界)・逢合橋(あいあいばし／交野市内)である。

★星ヶ丘洋裁学校

昭和 23 年(1947 年)、女性に教養としての洋裁を身につけさせる目的で開校。大きな木で囲まれた敷地は約千坪。現在は、戦前のウキルミナ女学校(現大阪女学院)郊外学舎時代からの木造校舎や自然環境を大事に残し、タイムスリップしたような空間で、カフェやソーイングギャラリーも楽しめる場所となっている。(星丘 2 丁目)



■村野駅

昭和 4 年(1929 年)、信貴生駒電鉄の駅として路線開業と同時に設置。

【駅周辺の歴史資源】

★村野村高札場

江戸時代の公的施設として村の中心地に設けられ、キリシタンや強訴徒党の禁令など様々な法度が板札に墨書され掲示されていた。明治に入り全国的に撤去されたが、当高札場は撤去されずに残ったもので、府内でも珍しく、市内では唯一現存するもの。平成 8 年(1996 年)、市の有形文化財に指定された。



【村野浄水場】

大阪広域水道企業団(旧:大阪府営水道)村野浄水場は昭和 38 年(1963 年)に通水。その後、拡張整備を行い、現在、我が国最大の施設能力(※179 万 7 千 m³ / 日)を有する浄水場である。限られた敷地を有効活用するための階層系浄水施設があるのも特徴の1つ。磯島取水場で取り入れた淀川の水をオゾンと粒状活性炭を使って高度浄水処理し、府内 42 市町村に水道水を供給している。現在、本市も不足を補うため受水している。



壁面の絵は琵琶湖と周辺



市内駅めぐり・長尾駅

【長尾駅】

長尾駅は、明治 31 年(1898 年)、四
条驛駅と結ぶ路線の駅として設置され
た。片町・四条驛間は先に開通してい
たため、沿線は大阪との交通が便利に
なっただけでなく、倉治の桃の花見・源
氏の滝への避暑・石清水八幡宮の放
生会(ほうじょうえ)参詣など行楽客や参
詣人で賑わった。長尾・四条驛駅区間
の電化は昭

和 25 年
(1950 年)、
長尾・木津
駅区間の電



新しい長尾駅

化は平成元年(1989 年)。平成 25 年
(2013 年)には、新しい橋上駅舎が整
備された。

【長尾の歴史】

旗本の久貝氏は長尾・藤坂・杉・津
田(一部)・田口・片鉾(一部)の各村の領
主で、1619 年、正俊のときに初代大坂
町奉行に任じられた。久貝氏は中世末
期の戦乱で荒廃した長尾の八田広(は
ったびろ)を家臣・細谷善兵衛に命じて再
開発。新村は福岡村と名付けられたが、
その後、元の長尾村に改められた。村
内には久貝氏の陣屋が建てられ、長尾
役所として当地方支配の中心となり、
細谷善兵衛は陣屋代官となった。

【周辺の歴史資源】

★長尾山 正俊寺(しょうしゅんじ)

当地の領主・久貝正世(クガイマサヨ)
が父・因幡守正俊(マサトシ)を弔うため
1649 年、田口村から善福寺を当地に
移し創建した。その際、久貝家領中野
村(現四條驛市)正法寺から本尊釈迦如
来坐像と十三重石塔
を移した。塔は高さ約
4.36m で鎌倉時代の
造立当初の姿をよく留
めていることから、昭
和 45 年(1970 年)、大
阪府有形文化財に指定された。境内に
は杉木立の中の紫陽花をかきわける
ように五百羅漢像が置かれている。

十三重石塔



★菅原神社

明治 22 年(1889 年)、町村制の施行
により新村が誕生した際、長尾村・藤阪
村の両村とも菅原神社が鎮座している
ため菅原村と名付けられた。長尾宮前
町にある菅原神社は、1650 年、久貝正
世が先祖ゆかりの地にまつられていた
長岡天満宮の祭神・菅原道真の分霊を
うけて建てられた。一方、藤阪天神町
の菅原神社は、いつ頃建てられたのか
不明だが、本殿は奈良の春日大社の
社殿を移築したものである。ちなみに
村の名前は神社名からとつたので「す
がわら」と読むが、旧仮名づかいで「す
がはら」と書いて「すがわら」と読んで
いたためか、小学校名(菅原小学校。後
の菅原東小も)は、「すがはら」と読む。



市内駅めぐり・藤阪駅

【藤阪駅】

藤阪駅は、昭和 54 年(1979 年)、長尾駅・四条畷駅間が複線化されるのに合わせて設置された。長尾・津田間に新駅をつくる運動が実ったもので、新駅の建設費用約 2 億円は全額地元負担。このうち約 1 億円は地元藤阪地区の共有地である溜池の売却によってまかなわれた。

【駅周辺の地域資源】

★王仁(わに)公園

公園は利用目的や規模などから、街区公園(71)・近隣公園(11)・地区公園(2)・総合公園(1)・特殊公園(1)・広域公園(1)に区分される(※()は市内開設数。現在計 87。平成 28 年度末現在開設面積は約 133ha)。

王仁公園は総合公園で、当初の計画決定は昭和 33 年(1958 年)。昭和 48 年(1973 年)から拡張・整備工事が実施され、テニスコート・バレーボールコートが新設されるとともに、競泳用公認 50m プール・造波プール・流水プール等を備えた市民プール開きが、昭和 49 年(1974 年)に行われた。昭和 51 年(1976 年)には野球場(※現運動広場)も完成した。



★旧田中家鋳物民俗資料館

枚方市の田中家は河内国惣官鋳物師として、河内国の鋳物師を統率する地位にあった。枚方市は近世中期の珍しい建物で大阪府有形文化財の



田中家鋳物工場

指定を受けた枚方上之町にあった田中家の鋳物工場(昭和 48 年指定)と主屋(昭和 50 年指定)の寄贈を受け、王仁公園に隣接する藤阪天神町に移築復原し、昭和 59 年(1984 年)、枚方市立旧田中家鋳物民俗資料館として開館した。

★惣喜池(そうきいけ)

灌漑用の溜池である惣喜池は、隣の井出口池と、かつてはあった中ノ池ともに三ツ池と呼ばれていた。貯水量は 30 万 m^3 で、山田池 25 万 m^3 、大池 23 万 8 千 m^3 、新大池 21 万 5 千 m^3 (※枚方市統計書平成 28 年度版)よりも大きい。

【京セラドキュメントソリューションズ】

駅の近くにある京セラドキュメントソリューションズ(枚方工場)は、元は複写機メーカーの三田工業。平成 10 年(1998 年)、2000 億円を超える負債を抱えて会社更生法の適用を申請したが、三田工業の要請に応じて、京セラが支援。「京セラミタ」に社名を変更して会社を早期に再建。平成 24 年(2012 年)から現社名に変更した。



市内駅めぐり・津田駅

【津田駅】

津田駅は明治31年(1898年)、長尾駅・四条畷駅間を結ぶ新しい駅として設置された。現在の駅舎は3代目。戦前は津田駅から禁野火薬庫に引込線が敷かれ、大量の弾薬が輸送された。また、特産品であった河内そうめんの貨物輸送も行われた。

【河内そうめん】

大和国三輪から寒中素麺製造法が津田村・山下政右衛門により津田に伝えられたのは18世紀の後半で、交野郡の特産品として知られるようになった。明治になってからも河内素麺同業組合を結成。製造期間を11月から翌年3月までの5か月間に限定し、原料を精選して良質の製品を出荷するようになった。需要の多い京都方面に販売を求め、高級品として知られた。

寒さが厳しい時期の「門干し」



そうめんの門干し

(※天日での乾燥作業のこと)は、かつての代表的な風物詩であった。

【駅周辺の歴史資源】

★三之宮神社

津田山(※国見山[標高:約285m])を中心とする周辺一体は、鎌倉時代以来津田郷と呼ばれており、氏神が三之宮神

社(穂谷)であった。枚方地方は瀬戸内型気候で降雨量が少なく、しかも交野台地は背後の山が浅いため水が乏しいのが通例で、雨乞いの神事が数多く行われていた。中でも雨乞い神事が圧巻だったのが、古くは水神として信仰されてきた巨石の屋形石を御神体としていた三之宮神社だった。この神社の雨乞いのお礼奉納は盛大で、きらびやかな衣装と笠を着けた踊り子が練り歩く伝統の住吉踊りなど村あげてのお祭りが行われた。なお、この神社で湯立神事に用



湯釜

いられたと思われる湯釜は、枚方市の有形民俗文化財に指定されている。

★春日神社(津田元町)

春日神社は津田村の氏神で、春日神社本殿は奈良県春日大社の旧本殿を移築した「春日移し」、末社若宮八幡宮本殿は奈良春日大社末社三十八所神社の旧社殿を移築した「三十八所移し」で、市の有形文化財に指定されている。「春日移し」は全国で30棟を数え、枚方市内では他に百済王神社本殿(中宮)、菅原神社本殿(藤阪)、厳島神社本殿(尊延寺)がある。「三十八所移し」は奈良県内に7棟、大阪府内でこの1棟しか確認されていない。なお、枚方市内には「春日神社」が4箇所(津田元町・春日元町・茄子作・野村南町)ある。

ひらかた Quiz グランプリ開催要項



1. 日 時

平成 30 年 2 月 3 日 (土) 午後 2 時～

2. 場 所

枚方市市民会館大ホール

3. 募集人数・参加料

500 人程度 (多数の場合抽選)。無料

4. 参加資格

枚方市在住・在学・在勤の方
※年齢制限なし(推奨年齢 10 歳以上)

5. 出題数

70 問 (択一式)

※大ホールのスクリーンに問題を映
します (問題は司会者で読み上げ
ます)。その場で回答を記入下さい。

6. 出題範囲

虎の巻 (上・下巻) 掲載事項を基本
に、枚方市に関する幅広い内容を
出題します。

7. 採点・表彰式

マークシートの解答を採点后、成績
上位者の表彰式を行います。

8. 申込み期間

平成 29 年 11 月 1 日～11 月 30 日

9. 申込方法

別に配布しているチラシ (裏面)
にある参加申込書に必要な事項を
記入のうえ、次のいずれかの方法
でご提出をお願いします。

※申込用紙は市ホームページからダ
ウンロードできます。

窓口で の提出	枚方市役所 賑わい交流課 (枚方市役所別館 3 階)
郵送	〒573-8666 枚方市役所 賑わい交流課宛 (住所表記なしで届きます)
e-mail	nigiwai@city.hirakata. osaka.jp
FAX	072-841-1278

※窓口での提出の受付時間は 9 時～17
時半です。(土日祝日を除く)

※平成 30 年 1 月上旬に参加票を発送し
ます。なお、募集人員を超えた場合
は抽選となります。抽選となった場
合でも、すべての申込者に結果をお
知らせします。

※平成 30 年 1 月 15 日 (月) までに
参加票又は抽選結果が届かない場合は、
事務局までご連絡ください。

ひらかた Quiz グランプリ 「虎の巻(上巻)」

平成 29 年(2017 年)8 月 1 日 発行

【発行】 ひらかた Quiz グランプリ実行委員会

【問い合わせ】 事務局 (枚方市賑わい交流課)

〒573-8666

大阪府枚方市大垣内町2丁目1番20号

TEL 072-841-1475

FAX 072-841-1278

この冊子は、枚方
市史(別巻)・郷土枚
方の歴史・枚方市統
計書・広報ひらかた・
枚方つーしん記事
等を参考に記載して
います。文責は事務
局にありますので、
ご指摘・ご質問等は
事務局までお寄せ
下さい。

※「虎の巻(下巻)」は 10 月発行予定